

2026.03 [No.3]

# 会誌ふくおか



一般社団法人福岡県臨床衛生検査技師会

## 目 次

会長挨拶	2
全国「検査と健康展」を終えて	4
令和8年度事業計画	5
令和8年度予算	9
第34回福岡県医学検査学会優秀演題報告	11
最優秀演題賞 久留米大学医療センター 森上 優子	
最優秀症例報告賞 久留米大学病院 古江 由佳	
施設紹介	13
北九州地区：一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院	
筑後地区：社会医療法人 天神会 新古賀クリニック	
筑豊地区：独立行政法人労働者健康安全機構 総合せき損センター	
福岡地区新入会研修会報告	16
福岡青洲会病院 庄山 日菜	
第35回福岡県医学検査学会案内	17
編集後記	18
健和会大手町病院 大串 篤利	

## ご挨拶（本年度の事業総括と今後）

福岡県臨床衛生検査技師会  
代表理事会長 大久保 文彦

本年度の事業総括と今後について記載いたします。

### 1) 今年度の総括

福臨技事業の柱である学術事業部門の各地区部門研修会はオンライン研修を主体に、一部現地や現地とオンラインの併用を実施してきました。他の地区と連携し、共同開催も少し増加しています。県主催の研修会は現地開催が増加しつつありますが、会員の利便性を考えると、現地とオンライン研修の併用できる環境は必須であると思います。

精度管理事業の根幹をなす令和7年度福岡県臨床精度管理調査（月例サーベイ）を4月より日臨技システムを利用して開始しました。一旦休止したものを再度立ち上げ・継続していくのは、精度管理事業の実務委員の多大な労力の上に成り立っています。

令和7年度定時総会は、今年度より経費削減のためナースプラザ福岡で令和7年5月24日（土）に開催し2585名（出席会員64名、委任状2521名）の参加でした。特別講演は九州大学病院検査部部長の國崎祐哉先生に「オミクス技術と臨床検査開発」についてご講演を賜りました。

第34回福岡県医学検査学会は10年ぶり（前回2015年）の県主催でした。今まで各地区に多大なる負担をお願いしていたのだと再認識しました。本学会のテーマを「臨床検査の施設認証と医療安全」として、文化講演では千葉しのぶ先生（NPO法人霧島食育研究会 理事長）に「食べものにはドラマがある」～心を育む食と農～のご講演を賜りました。さらに韓国京畿道病理士会7名の臨床検査技師の皆様を囲んで、福臨技の会員の皆様との情報交換の場「Afternoon Meeting」を設けました。今まで長年にわたって韓国京畿道病理士会との交流を行ってきましたが、会員の皆様との情報交換は初めての試みでした。韓国京畿道病理士会との通訳として手を挙げていただいた3名の会員の方々には感謝しかありません。

公益事業は、福岡県主催の【第24回健康21世紀福岡県大会】を筑後地区（久留米シティプラザ六角堂広場）で開催し、INBODYを使用したイベントを施行し、参加（測定）人数は277名でした。日本臨床衛生検査技師会（日臨技）より依頼の【令和7年度、全国検査と健康展】を筑後地区（久留米シティプラザ展示室）で開催し、10ブースを展開し、参加者は320名でした。また、日臨技からの委託事業である【タスク・シフト／シェアに関する厚生労働大臣指定講習会】も継続的に実施しています。来年度からは県単独ではなく、九州支部として実施することになります。

次世代への橋渡し事業の【令和7年度福臨技リーダー研修会】を令和8年3月1日に実施予定です。一方、昨年度の研修会でご提案いただいた、“学会の全国演題数 No.1”を元に【福臨技リーダープロジェクト主催】として『はじめての学会発表講座 ～抄録から発表までを学ぶ実践ゼミ～』を数回にわたるシリーズとして開催しています。

さらに福臨技と看護協会、診療放射線技師会、栄養士会で構成している福岡県医療団体協議会では、【第39回医療技術者セミナー】を令和8年2月21日（土）、ナースプラザ福岡で開催予定です。メインテーマを「予防から回復まで～多職種で支える患者中心の医療」とし、特別講演、各団体からの発表を予定しています。

福臨技からの発行物は、①定時総会議案書（4月）のほかに、年に3回の発行の「会誌ふくおか」として②福岡県医学検査学会抄録集（7月）、③役員紹介・医学検査学会の報告など（10月）、④次年度事業計画・新人研修会など（3月）の計4回発行しています。

令和7年度は、①②は印刷物発行、③④はPDFへ、令和8年度は①は印刷物発行、②③④はPDFへ、令和9年度は①②③④全てPDFへ順次移行予定です。何卒ご理解の程よろしくお願いたします。

## 2) 今後について

我々の当初の目標は、1) 各施設でリーダーとして活躍している中堅技師の方々に興味を持っていただける事業内容を展開、2) デジタルトランスフォーメーションの加速、3) 『繋ぐ』をテーマに、教育現場と臨床、各地域、会員相互、および臨床検査技師と県民を繋ぐ、4) 次世代への橋渡しの4項目でした。その中で、1) は生物化学分野以外の精度管理事業の拡大が大きな事業になるだろうと思います。2) と3) はHPの活用、LINEの活用検討などが必要で、多くの会員に情報を届けられる仕組みの検討が必要です。

まずは分かりやすい事業展開と説明を行い、会員の皆様にとって利用しやすい福臨技であり続けることが重要と考えます。

多くのご意見や質問は、福臨技ホームページの【お問い合わせ】フォームでお願いします。

## 全国「検査と健康展」を終えて

一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会

筑後地区長 野田 哲寛

令和7年11月9日、久留米シティプラザ展示室において全国「検査と健康展」in 福岡を開催し、**来場者総数 302名**と多くの皆さまにご参加いただきました。各ブースにも、臨床生理 187名、生物化学分析 137名、病理細胞診 163名、臨床検査総合 144名、一般検査 147名、臨床血液 188名、輸血・細胞治療 160名、臨床微生物 158名、臨床検査養成校①215名、②179名と、幅広い世代の方々にお立ち寄りいただき、臨床検査の魅力を体験していただく貴重な機会となりました。

本イベントは、小中高生を中心に臨床検査技師という職種を広く知ってもらうことを目的として準備を進めてまいりました。しかし、開催場所選定では多くの学生が集まる商業施設の使用が叶わず、前回に引き続き久留米シティプラザでの開催となりました。また、集客においては、学校への案内が教育委員会を通せなかったこともあり、事前の反応はほとんど得られない状況でした。

そのような中、当日は同施設で実施されていた医療系イベントの責任者へ協力を依頼し、出口付近でチラシ配布を行ったことで、**302名**もの来場者を迎えることができました。特に幼児から小学生まで、想定よりも若い世代の参加者が多く、保護者の皆さまからも「臨床検査技師という仕事を初めて知った」「とても良い経験になった」との声をいただき、職種の普及に繋がるものと感じております。

今回の検査と健康展を筑後地区で開催し、市民の方へ「臨床検査技師」を知っていただくことはもちろんですが、地区会員を中心とした実務者同士の交流の場ともなり、ボランティアとして参加した学生との意見交換も大変有意義となりました。臨床検査の魅力を伝えるだけでなく、次世代を担う若者との接点をつくれたことは、今後の活動にとっても大きな収穫となりました。



## 令和8年度事業計画

令和8年度の事業として、第35回福岡県医学検査学会は北九州地区の担当により、令和8年6月28日(日)に「小倉記念病院」にて現地開催を予定しております。多くの会員、賛助会員、ならびに学生の皆様のご参加をお待ちしております。また、多数の一般演題のエントリーをいただけますと幸いです。

県主催の研修会や各地区主催の勉強会につきましては、例年どおり多数の開催を企画しております。加えて、利便性が高く継続を望む声の多いWeb開催の併用についても、引き続き検討してまいります。

公益事業である全国「検査と健康展」および「健康21世紀福岡県大会」につきましても、例年どおり現地開催にて準備を進めてまいります。臨床検査技師の認知度および好感度の向上を目的とした活動を実施いたしますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、「タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会」の開催方法が変更となります。これまで数年にわたり各県単位で開催されていた同講習会は、今後は九州支部単位(九州全域)での開催へと移行いたします。これに伴い、福岡県を会場とした開催回数が減少する見込みであることを、あらかじめご承知おきください。現在、福臨技会員約3,500名のうち、同講習会の修了者は約1,300名と、全体の4割に満たない状況です。臨床検査技師の業務拡大の観点からも、積極的な受講をお願いいたします。

また、近年の物価高への対応策の一環として、特に郵送費の高騰を踏まえ、「会誌ふくおか」をはじめとする紙媒体については、順次廃止しデジタル化を進めてまいります。デジタルツールを積極的に活用し、ホームページのさらなる充実や、SNSを活用した情報発信についても検討してまいります。

今後とも、より良い技師会活動を目指し、役員一同取り組んでまいります。会員ならびに賛助会員の皆様におかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 【総務・管理運営部】

1. 執行部と密に連携し、会の円滑な運営を行う
2. 監督官庁である福岡県医療指導課ならびに関連各団体との連携を密にし、調整を図るとともに行政からの要望に迅速に対応する
3. 日臨技及び九州支部と連携し、情報の共有を行い福臨技事業の更なる推進を図る
4. 会務の報告及び文書の授受発行を円滑に行い、各部と連携を強化し会員へ情報を遅延することなく提供する
5. 総会・学会・記念式典やイベントを担い、各部と連携し円滑な運営を遂行する
6. 各種表彰において表彰審査委員会と連携し円滑な運営を遂行する
7. 定款・細則及び諸規定並びに医療関連法規・制度の整備を行う
8. 求人の円滑な広報に努める
9. 国際交流事業としての韓国京畿道臨床病理士会との交流について、学術を通じて友好関係の構築に努める

#### 【学術事業部】

1. 各地区の部門研修会の実施形態・実施方法について状況・要望に応じた調整・支援を行う
2. 県主催部門研修会を開催する。また、実施形態・実施方法について状況・要望に応じた調整・支援を行う
3. 日臨技生涯教育推進研修会助成金制度の利用を促進する
4. 第35回（令和8年度）福岡県医学検査学会開催に際し北九州地区実行委員会と連携する
5. 第36回（令和9年度）福岡県医学検査学会の準備について担当地区と連携する
6. 学術奨励基金制度の利用を会員に広く促す
7. 精度管理事業部との連携をはかる

#### 【精度管理事業部】

1. 生化学月例サーベイを継続実施し、年度末に報告会を開催する
2. 試料作製・保管場所の問題解決へ取り組みの継続
3. 精度管理事業部の人材発掘と育成に取り組みのみの継続
4. 各分野と連携を取り、実施可能な精度管理事業の検討を行う

#### 【企画運営部】

1. 『タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会』の開催、啓蒙を行い、会員が滞りなく受講できるように進めていく
2. 災害時対応につきまして、福岡県との災害協定の締結を行い、それをもとにした災害対策マニュアルの改訂を行う
3. 福岡県臨床衛生検査技師会リーダー育成研修会を行い、今後を担っていく人材育成を継続していく
4. 日臨技と連携とりつつ、会員のための様々な企画を行っていく

#### 【広報・情報管理部】

1. ホームページを活用し、より多くの会員や賛助会員に利用していただけるよう各種情報（地区情報・学術情報・行事予定・賛助会員新商品情報など）を迅速に発信していく
2. 年間3回の会誌「ふくおか」の発行・電子化を行い、各種情報を会員や賛助会員へ発信していく
3. デジタルトランスフォーメーションを加速、会員のニーズにあったデジタルツールを活用し、技師会活動を活性化していく広報活動を行っていく

### 【公益事業部】

1. 日臨技委託共同事業である全国「検査と健康展」や各地区で行う健康展へ積極的に参画したい
2. 行政、福岡県医師会等が主催して行う講演会・イベントに積極的に参画したい
3. 若者や学生へ臨床検査技師の職業をPRしていきたい
4. 令和8年度行事予定  
令和8年10月（未定）  
第25回健康21世紀福岡県大会（北九州地区担当）  
令和8年11月（未定）  
2026年度 全国「検査と健康展」（北九州地区担当）  
令和8年11月（未定）  
デンタルフェア2026（福岡市歯科医師会主催）於）ららぽーと福岡  
令和8年11月（未定）  
第52回北九州市民ダイアベティスフォーラム 於）小倉第一病院  
令和8年11月1日（日）  
第47回ふくおか市民糖尿病教室 於）TKP ガーデンシティ PREMIUM 天神スカイホール  
令和9年2月  
2026年県民健康づくりセミナー（You Tube 配信）

### 【財務管理部】

1. 会計簿の作成及び保持を滞りなく行う
2. 備品の管理（整備、貸出し、廃棄）に関する業務を確実に行う
3. 現場の事業が滞りなく進められるように、円滑な費用運用を行う
4. 年度収支予算の編成及び収支決算書が現実に見合ったものか検証する
5. デジタルフォーメーションを進め、帳簿作成・管理の省力化を目指す

### 【福岡地区】

1. 各種会議を計画・遂行し、活動の円滑な運営を行う
2. 新入会員研修会および当直業務支援講座等を実施し、新入会員の育成とサポートを行う
3. 学術研修会を Web もしくは会場の規定に合わせて開催する
4. 地区役員および学術部門と連携し、地区主催行事を計画・遂行し、技師会活動の活性化を図る
5. 施設連絡責任者会議などの企画により、施設間の連携強化を図る

### 【北九州地区】

1. 各分野における基礎から応用までの学術研修会を定期開催する
2. 施設機能向上研修会など地区全体の研修会を充実させる
3. 新人研修会や学術発表会を開催し若手技師の育成に取り組む
4. 施設連絡責任者会議を開催し施設間・管理者同士の繋がりを強化する
5. 公益事業を通じ、啓発活動に取り組む

#### 【筑後地区】

1. 新人一般会員研修会を開催し、基礎知識の見直しを図る
2. 前期・中期・後期講演会の企画や学術研修会を実施し、広い視野をもつ人材育成に取り組む
3. 地区会員同士の連携を強化し、協働して技師会活動に取り組む

#### 【筑豊地区】

1. 地区役員および青年部役員と連携し、地区主催行事の企画と円滑な運営を行う
2. 新人研修会、筑豊臨床検査発表会など、多くの会員が参加できるような地区主催行事を開催し、技師会活動への理解を深める
3. 現地あるいはWeb による研修会や講演会等の学術活動をさらに充実させる
4. 青年部主催行事を開催し、若手技師の育成・親睦を図る
5. 技師会活動を通して、広い視野をもつ人材育成に取り組む
6. 地区公益事業の令和9年度開催を目標とし議論を重ねる
7. 施設連絡者会議を開催し、地区内の多くの施設から技師会活動に対する理解を深める

# 令和8年度予算

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会

勘定科目	R7予算	R8予算	差異(R8-R7)	適用
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
<b>1) 受取会費</b>				
正会員受取会費	( 20,840,000 )	( 20,740,000 )	△ 100,000	5,000円×3,600名
賛助会員受取会費	18,000,000	18,000,000	0	20,000円×50社
受取入会金	1,100,000	1,000,000	△ 100,000	500円×180名
受取会員運営資金	90,000	90,000	0	10,000円×165名
受取会員運営資金	1,650,000	1,650,000	0	
<b>2) 事業収益</b>				
受取講習会参加費	( 1,735,000 )	( 1,450,000 )	△ 285,000	
受取展示・広告費	350,000	350,000	0	
受取展示・広告費	385,000	300,000	△ 85,000	
受取データ共有化事業参加費	1,000,000	800,000	△ 200,000	R7年度再開
<b>3) 事業受託収入</b>				
受取立入試料作成費(福岡県)	( 3,060,000 )	( 3,060,000 )	0	
受取精度保証試料作成費(他県)	160,000	160,000	0	
受取福岡急患部会診療研究研修費	2,180,000	2,180,000	0	
受取福岡急患部会診療研究研修費	720,000	720,000	0	
<b>4) 受取補助金等</b>				
日臨技議決権行使回収手数料	( 1,250,000 )	( 950,000 )	△ 300,000	(旧;受取国民健康増進助成金)
日臨技助成金	250,000	250,000	0	
日臨技助成金	1,000,000	700,000	△ 300,000	(旧;受取生涯教育助成金)
<b>5) 受取寄付金</b>				
受取一般寄付	( 200,000 )	( 200,000 )	0	
受取一般寄付	200,000	200,000	0	
<b>6) 雑収益</b>				
受取利息	( 22,500 )	( 40,000 )	17,500	
受取利息	2,500	20,000	17,500	
雑収益	20,000	20,000	0	
経常収益計	27,107,500	26,440,000	△ 667,500	
<b>(2) 経常費用</b>				
<b>1. 事業費</b>				
会議費	( 14,655,000 )	( 13,785,500 )	△ 869,500	
筆耕印刷費	220,000	250,000	30,000	
旅費交通費	1,000,000	200,000	△ 800,000	
租税公課	600,000	600,000	0	
諸謝金	2,000	2,500	500	
会場賃借料	300,000	350,000	50,000	
通信運搬費	300,000	300,000	0	
運営費	450,000	450,000	0	
雑費	1,100,000	1,120,000	20,000	
ウェブサーバー運営費	2,000	2,000	0	
ウェブサーバー運営費	200,000	250,000	50,000	
精度保証試料作成費	200,000	250,000	50,000	
精度保証研修会費	3,000,000	3,000,000	0	R7年度再開
新人研修運営費	50,000	50,000	0	
リーダー育成研修会費	200,000	200,000	0	
生涯教育研修制度対策費	300,000	350,000	50,000	(旧;ニューリーダー研修会費)
学術奨励研究助成金	60,000	60,000	0	
学術研究活動通信連絡費	300,000	300,000	0	
福岡急患部会診療研究研修費	1,000	1,000	0	
福岡急患部会診療研究研修費	450,000	450,000	0	
対策活動費(県主催)	570,000	600,000	30,000	
地区主催対策活動費	840,000	840,000	0	
地区主催研修・講演会	2,320,000	2,320,000	0	
地区主催雑費	35,000	35,000	0	
PCセンター行動費	5,000	5,000	0	
80周年記念事業準備金	350,000	350,000	0	毎年35万円積立金 10年間予定
県学会準備金(次年度)	1,200,000	1,200,000	0	
国際交流費	800,000	500,000	△ 300,000	

2. 管理費	( 12,452,500 )	( 12,654,500 )	202,000
給料手当	4,850,000	5,000,000	150,000
賞与（令和6年度夏期）引当金	400,000	400,000	0
総会費	1,000,000	1,000,000	0
事務局運営費	200,000	200,000	0
備品費	60,000	60,000	0
消耗品費	300,000	350,000	50,000
減価償却費	200,000	200,000	0
ホームページ運営費	700,000	700,000	0
通信運搬費	450,000	450,000	0
交通費	350,000	350,000	0
筆耕印刷費	30,000	30,000	0
社保福利費	700,000	800,000	100,000
理事会費	750,000	650,000	△ 100,000
各部会費	300,000	300,000	0
各種委員会費	150,000	150,000	0
会場費	150,000	150,000	0
水道光熱費	70,000	70,000	0
事務所賃借料	700,260	700,260	0
電話料	120,000	120,000	0
役員行動費	700,000	700,000	0
法人税	71,000	71,000	0
雑費	1,240	3,240	2,000
退職給付費用	200,000	200,000	0
経常費用計	27,107,500	26,440,000	△ 667,500

## 心電図シミュレータを用いた 12 誘導心電計の機器精度管理の試み

～心電図検査における精度維持・向上を目指して～

○森上 優子 1) 寺田 恵美 1) 川添 綾子 1) 吉永 英子 1) 天本 貴広 1)  
川野 祐幸 2)

1) 久留米大学医療センター 臨床検査室

2) 久留米大学病院 臨床検査部

### 【はじめに】

近年、生理検査における精度管理への関心が高まっているが、検体検査のような明確な手法は確立されておらず、各施設で独自に行われているのが現状である。

当院検査室の心電図検査においても、これまでは、機器保守による点検を実施するのみで、機器精度管理は実施できていなかった。今回、我々は、心電図検査における精度維持・向上を目的として、心電図シミュレータを導入し、正常模擬波形の測定による機器精度管理の運用を開始したので、その現状と課題を報告する。

### 【方法】

2024 年 11 月～2025 年 6 月の期間で、心電図シミュレータ (ESIM-200, フクダ電子) を 12 誘導心電計 (CardiMaxFCP-9800, フクダ電子) 1 台に対して導入し、模擬波形を用いた機器精度管理を実施した。手法は、業務始業時に心電図シミュレータへ四肢・胸部の誘導コードを接続し、12 誘導心電計を機器精度管理モードに設定後、正常模擬波形を記録することとした。HR (bpm)、R-R (秒)、P-R (秒)、QRS (秒)、QT (秒)、電気軸 (度)、R+S (mV)、SV1 (mV)、R II (mV)、RV1～RV6 (mV) の記録値が管理幅 (設定値の 5%以内) に収まっていることを確認し、記録管理したデータを心電計本体および生理機能検査データマネジメントシステム (MBF-1000, フクダ電子) に保存した。

### 【結果】

実施期間の記録値は、HR 80bpm、R-R 0.749～0.75 秒、P-R 0.159～0.168 秒、QRS 0.099～0.104 秒、QT 0.386～0.390 秒、電気軸 77～79 度、R+S 2.65～2.68mV、SV1 1.52～1.54mV、R II 1.20～1.21mV、RV1 0.51～0.53mV、RV2 1.02～1.06mV、RV3 1.26～1.28mV、RV4 1.56～1.59mV、RV5 1.13～1.14mV、RV6 1.04～1.07mV と、すべての項目で管理幅に収まった。また、記録管理データは心電計本体および生理機能検査データマネジメントシステムに保存され、数値のみでなく、トレンドグラフでの評価や心電図波形自体の比較も可能であることが確認された。

### 【考察】

心電図シミュレータを用いた 12 誘導心電計の機器精度管理は、数値として管理可能なため、有用な精度管理方法として推奨できる。また、経時的に精度管理データを蓄積・比較することも可能で、異常が生じた場合、迅速に機器の不具合を発見できると考える。しかし、当院には複数台の心電計が配置されており、全ての機器の精度管理をするまでに至っていないことが課題である。

### 【今後の展望】

当院では、同一メーカーの機器で測定した心電図は、LAN や Wi-Fi を通じて、生理検査データ管理システムに送信・保存される。このシステムを活用し、シミュレータの模擬波形を用いた院内心電計の機器精度管理を今後検討していく予定である。

心臓悪性リンパ腫の診断、治療経過において経胸壁心エコー図検査が有用であった 1 例

久留米大学病院 臨床検査部 古江 由佳  
伊藤 慎一郎、砥上 忍、尊田 夕香里、川野 祐幸

### 【はじめに】

心臓悪性リンパ腫は稀な疾患であり、早期の組織診断による適切な化学療法への導入で生命予後の延長が期待できる。今回我々は、心臓悪性リンパ腫の診断や治療経過において、経胸壁心エコー図検査 (TTE) から有用な情報が得られた症例を経験したので報告する。

### 【症例】

患者：70 代、女性。

主訴：労作時呼吸苦

既往歴：50 代 卵巣嚢腫

生活歴：喫煙 (20 本×40 年)

現病歴：生来健康であったが、X 年 Y 月に発熱のため近医を受診。Y+2 月頃から全身倦怠感、労作時呼吸苦を自覚するようになった。その後、症状が増悪したため TTE を施行したところ、右室内に占拠性病変を認めたことから当院へ紹介受診となった。

### 【来院時検査所見】

#### 《血液検査》

LD 570 IU/L、尿酸 7.3 mg/dL、CRP 10.79 mg/dL、IL-2 1256 pg/mL、NT-proBNP 1085.6 pg/mL

#### 《心電図検査》

洞調律、心拍数 58bpm、II・III・aVF・V1～V6 誘導に陰性 T 波を認めた。

#### 《胸部 X 線》

CTR 51%、肺うっ血なし

#### 《TTE》

右房右室にかけて最大 9cm の辺縁不整、内部不均一な等輝度腫瘤を認めた。腫瘤は三尖弁を巻き込むように右室広範を占拠し、腫瘤の一部は紐状に突出し可動性を有していた。三尖弁逆流は軽度で、肺高血圧症や三尖弁狭窄は認めなかった。また、左室駆出率 70% で左室壁運動異常はなく、上行大動脈への腫瘍浸潤や心嚢液貯留も認めなかった。

### 【経過】

TTE にて腫瘤の一部に可動性を認めたこともあり、腫瘍塞栓のリスクを考慮し外科的生検が行われた。病理診断は Diffuse large B-cell lymphoma であり、R-CHOP 療法が開始された。6 コース終了後、右房右室内に認めていた腫瘤は消失したが、三尖弁前尖の短縮と可動性の低下によるものと思われる重度三尖弁逆流を認めた。現在も腫瘍再発の有無や三尖弁逆流に対し経過観察中である。

### 【考察】

TTE を用いることで腫瘍の存在診断や性状について評価することができ、生検方法に対しても有益な情報を提供することができた。また、本症例は腫瘍消失後に弁の器質的変化を来し、三尖弁逆流の出現を認めた。腫瘍消失後も新たな弁膜症が出現することがあるため、治療効果の判定だけでなく、弁膜症に関しても注意深く観察していくことが重要である。

## 私が働く小倉記念病院と検査技師部について

一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 大井 慈文

私は、現在二つ目の職場となる小倉記念病院にて2011年11月から勤務しています。業務としては、病理細胞診・生化学/免疫・一般・微生物・輸血を経験してきました。

小倉記念病院の紹介になりますが、当院は循環器疾患を専門とする病院であると同時に総合病院です。27の診療科からなり、病床数656床でCCU、ICU、SCUの3ユニットを有しています。職員数は1528名で、九州では珍しい京都大学病院系の病院です。総合病棟と心臓血管病棟のツインタワーから成る病院です。すべては「患者さんのために」という情熱、強い使命感のもと職員は働いています。

### 病院の沿革

大正5年(1916年):京都大学助教授を辞した副島豫四郎氏が、小倉市(昔は、小倉市でした。1963年に五市合併し北九州市になりました。)宝町(現在はない地名で、小倉井筒屋周辺です。)にあった外科病院を母体に、私立小倉記念病院を創立する。標榜科:内科、小児科、外科、婦人科、耳鼻咽喉科 計5科より始まる。

昭和23年(1948年):私立小倉記念病院を厚生省へ移譲、朝日新聞西部厚生文化事業団に経営を委託し、社会保険病院となる(2012年までは社会保険病院でした)。

昭和45年(1970年):新病院を北九州市小倉北区貴船町に新築。

昭和54年(1979年):循環器科、心臓血管外科を増設し、心臓血管病センターを新築・開設。

平成16年(2004年):開設者が、朝日新聞厚生文化事業団から財団法人平成紫川会となる。

平成22年(2010年):北九州市小倉北区浅野(現在地)に新築移転。

平成24年(2012年):社会保険病院経営委託契約を終了し、名称を「社会保険小倉記念病院」から「小倉記念病院」に変更する。

平成26年(2014年):名称を「一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院」と変更する。

私が働く検査技師部についてですが、まず検査技師部という部門名称が珍しいです。通常、検査部や中央検査部や臨床検査部などのことが多いと思います。当院では、診療放射線部も放射線技師部と言います。以前は、臨床工学技士の皆さんと一緒に部でした。新人歓迎会も忘年会も臨床工学技士さんと一緒でした。現在は、検査技師部と臨床工学課としてそれぞれ独立した組織となっています。検査技師部には、検査支援課という他の病院にはない課があり採血業務や心電図検査業務、手術室やICU検査業務などに携わっています。

- ・臨床検査技師数58名
- ・6課(中央検査課、輸血・細菌検査課、病理検査課、第一生理検査課、第二生理検査課、検査支援課)、9室
- ・2024年度より品質保証施設認証

### 検査技師部の今後

専門性に特化した技師と総合的な検査のできる技師の育成に取り組んでいきたいと考えています。時代の流れに沿いたスク・シフト/タスクシェアも必須と考えていますので臨床検査技師として柔軟な対応をしていきたいと考えています。まずは相互補完できる部署を目指していきたいと考えています。今後とも会員の皆さまのご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

当院のホームページも充実していますので、ぜひそちらも覗いていただければと思います。

天神会は、昭和 21 年に初代院長 古賀一雄先生が古賀内科医院を創設され、昭和 29 年に現在立地している久留米市天神町 106 番地に移転し、昭和 33 年に古賀病院となりました。その後、成人病への対応を強化し、1964 年に中央検査室が設置されました。そして、2002 年には古賀病院から古賀クリニックへ名称が変更され、2008 年に現在の新古賀クリニックに変更されました。

現在、新古賀クリニックでは、女性外来、糖尿病・甲状腺・内分泌センター、血液浄化センター、健康管理センターと専門性に特化した設備で診療を行っています。健診センターは男女フロアを完全に分離していることが特徴です。新古賀クリニックの臨床検査課所属技師は 6 名ですが、隣接する新古賀病院の臨床検査課と連携し、主に心電図・ABI・DPN・超音波検査・In Body 測定を行っています。

当院の臨床検査課 生理機能係の特徴としては、日本超音波検査医学会認定技師が多い点が挙げられ、それは現理事長である古賀伸彦先生が超音波検査に無限の可能性を信じ、積極的に新規機種を導入して頂いたこと、今まで天神会で超音波検査に携わってきた先輩技師の方々のご尽力があったからこそであると常々感じています。

最後に Topics としましては、2027 年 2 月頃に新古賀クリニックは新棟開院予定となっています。この新棟は、「NEW GATE(新たな玄関口)」をコンセプトに、西鉄久留米駅の新たなランドマークとして、より高度な健診・外来機能を持つ施設に生まれ変わる予定です。今後も当院健診センターの特徴である完全男女別フロアは踏襲し、現在よりも多くの健診受健者に対応できるようになります。是非、完成した暁には、見学や健診を受けに来てみてはいかがでしょうか。



・北側(西鉄久留米駅側)からの完成予想図

「総合せき損センター？」・・・病院名のせいなのか、病院と思われない場面に度々遭遇いたします。実際、私自身も飯塚市で生まれ育ったにも関わらず、採用試験を受けるまで所在地も知らず、もちろん門をくぐった事ありませんでした。今回、施設紹介という絶好の機会を頂きましたので、これを機に病院の魅力を沢山知っていただければ幸いです。

総合せき損センターは、昭和 54 年本邦で初めての脊髄損傷専門施設として飯塚市に誕生、平成 25 年に新病院が完成し今年で開設 47 年を迎えました。病床数 150 床と小規模ではありますが、多くの脊椎脊髄外科専門医を擁し年間の脊髄手術は約 800 例行われております。現在は、新たに側弯症外来、また泌尿器科においては女性専門外来も開設され、患者さんからは「勇気を出して来て良かった」と好評の声をいただいております。

さて、ここからは中央検査部をご紹介。中央検査部スタッフは、臨床検査技師 5 名、受付業務担当 1 名で構成されています。少人数ではありますが、業務内容は多岐に渡ります。検体部門においては、一般、生化学、血液、免疫、輸血、また、生理部門においては、心電図、肺機能、ABI、伝導速度、筋電図検査、下肢静脈エコー、泌尿器科領域エコー、心エコー、術中モニタリング、それに加えての採血業務。5 名全員でカバーしながら多くの業務を遂行しており、その中でも 3 名の術中モニタリング認定技師が在籍するのは、脊髄損傷専門施設ならではの感じております。現在は全ての技師が心エコー検査をはじめ、術中モニタリング等、難易度の高い技術を習得し日々邁進しております。手術室の機器さながら、中央検査部の機器も必要に応じて新機種へと随時更新されており、患者さんに安心、安全な医療が提供できる環境が整っています。

病院の理念「受診してよかったと思われる病院でありたい」「基礎と臨床の融合」

我々は総合せき損センターの職員としてこの理念と掲げられた大きなビジョンに共感し「この病院で働いてよかった」・・・そう感じながら働けることに感謝し、また、そう思えるからこそ患者さんに寄り添った医療が提供できると感じております。



日進月歩で進化しているこの医療業界。終わりのない進化とも思えるが、時代に取り残されることのないよう、これからもスタッフ全員が日々研鑽し、一生懸命働き、一生懸命遊ぶ。そして、しっかりと休息をとる。このメリハリこそが大事であり、それを実行しているからこそ笑顔がたくさん検査部になっていると思います。今後も院内に限らず、地域の病院の方々とも連携し多くの患者さんにより良い医療が提供出来ればと考えて

おります。これからも、皆様どうぞよろしくお願いたします。

福臨技福岡地区新入会員研修会にて、「七転び八起き～失敗は成功の種～」というテーマで、さまざまな場所で活躍されている臨床検査技師の先輩方に講話をしていただきました。臨床検査技師として働き始めてまだ一年目の私にとって、今回の講話は、日々の業務への向き合い方を改めて見直すきっかけとなりました。

講話の中で特に印象に残ったのは、登壇された先輩方が口を揃えて「新人の頃はたくさんのミスをしてきた」と話されていたことです。現在第一線で活躍されている先輩方も、最初から何でも完璧にこなしてきたわけではないという事実に、正直驚きと同時に大きな安心感を覚えました。

私自身、入職して半年が過ぎ、これまで多くのミスを経験してきました。先輩方が当たり前のように行っている業務が自分にはうまくできず、落ち込む日々が続くことも少なくありません。「なぜ自分ではできないのだろう」と自信を失い、インシデントレポートを書くたびに申し訳なさや悔しさを感じていました。しかし、先輩方も同じような経験を重ね、その一つ一つから学んできて今の姿があるのだと知り、失敗を必要以上に恐れる必要はないのだと感じました。

講話の中では、ミスをした際の向き合い方についても語られていました。ミスが起きたときに重要なのは、なぜそのミスが起きたのかを冷静に分析し、次に同じことを繰り返さないための対策を考えることだというお話は、強く心に残っています。失敗をなかったことにするのではなく、学びとして積み重ねていくことで、少しずつではありますが、確実に成長できるのだと感じました。

また、ミスをした際には速やかに上司へ報告し、周囲と情報を共有することの大切さも改めて学びました。自分のミスは決して自分だけの問題ではなく、同じ職場で働く技師や、何より患者さんの安全に関わるものです。自分の経験を共有し、業務手順や確認方法を見直すことで、より安全で質の高い医療につながるのだと思いました。

さらに、思い込みで行動しないことの重要性についての話も印象的でした。私自身、入職から間もない頃、心電図検査で電極の装着ミスをした経験があります。その原因の一つは、「正しく装着できているだろう」という思い込みから、ダブルチェックを怠ってしまったことでした。この経験から、業務上のルールや確認作業は、過去の失敗を繰り返さないために作られているのだと実感しました。今回の講話を通して、自身の経験の意味を改めて振り返ることができました。

今回の研修を通して、失敗は決して無駄なものではなく、自身の成長に欠かせない過程であることを学びました。これからも失敗することはあると思いますが、一つ一つの経験と真摯に向き合い、次に生かしていきたいと考えています。患者さんに安心して検査を受けていただける臨床検査技師を目指し、日々の業務に誠実に取り組んでいきたいです。

## 第 35 回福岡県医学検査学会のご案内

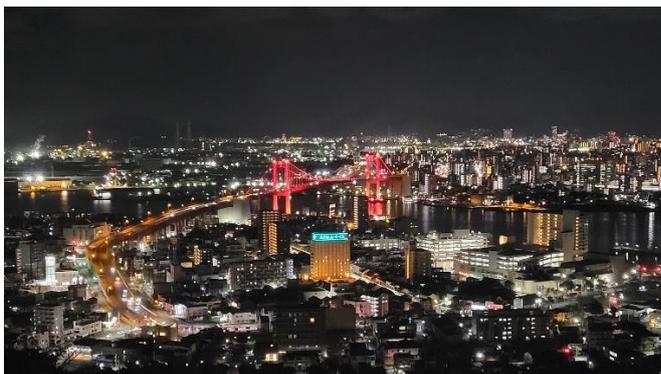
一般財団法人平成紫川会 小倉記念病院 大井 慈文

この度、第 35 回福岡県医学検査学会を北九州地区で担当させていただくことになりました。北九州地区長を拝命しております小倉記念病院の大井と申します。6/28（日）に小倉記念病院にて開催させていただきます。

本学会では、一般演題・特別講演・教育講演・シンポジウム・ランチョンセミナー・機器展示を行う予定です。シンポジウムは、タスク・シフト/シェアと精度管理について深掘したく、ただいま開催に向け計画中です。皆さまの日々の検査の参考にしていただけるよう、学びの場になるような企画にしたいと考えております。また一般演題には多くの登録をしていただけますと幸いです。

特に若手技師の皆さまには、県学会とはどのようなものか体験していただければと思います。まずはぜひ参加していただき次年度の福岡県学会での発表、九州学会や全国学会、また専門学会での発表の参考にして次へ繋げていただければと思います。先輩、上司の技師の皆さまにおかれましては、お声掛けお誘い合わせの上、参加へのご配慮のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

会場は小倉駅から徒歩 10 分です。北九州でお待ちしております。学びの多い会にできるよう準備していきたいと考えています。当日は最初から最後までご参加いただき、帰りには門司港や小倉城、皿倉山といった北九州の文化に触れや美味しい食に触れていただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## 編集後記

健和会大手町病院 大串 篤利

2026年が明け、早々に1月が過ぎ去ろうとしています。寒暖差が激しく体調管理が難しい中、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私はここ数年、仕事の傍ら中学硬式野球の審判員を務めています。団体によって多少異なるところはありますが、基本的にはまず審判講習会というものを1日かけて受講し、公式戦の塁審（1、2、3塁）ができる権利を獲得します。そこから1年かけて練習試合や公式戦で塁審の経験を積み、主審の練習も並行しながら次は昇級試験（実技試験・筆記試験）に挑みます。晴れて合格すると、アマチュア野球公認3級のライセンスを獲得し、公式戦の主審ができるようになります。去年は、前回WBCの壮行試合があった宮崎のサンマリスタジアムで審判に立てたことが思い出のひとつです。

審判として公正なジャッジをするために、試合開始前にミーティングを実施し自身のテリトリーの確認やカバーするところの確認を行い、試合後には反省会を通じて情報を共有し次の試合に備える、これはまさに仕事に精通するところで日々のメンテナンスを確実に遂行し、学習や経験を活かし正確な検査データを提供するという部分に共通点を感じながら検査に携わる毎日を送っています。

慌ただしい1年が始まりましたが、一つ一つしっかりと取り組んでやっていきたいと思います。皆様、本年も技師会活動へのご参加、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

# ルミパルス® 認知症関連項目

[β-アミロイド1-42・β-アミロイド1-40・リン酸化タウ181・総タウ]



品名	使用目的	判定法	重要な基本的注意
ルミパルス β-アミロイド 1-42	脳脊髄液中のβ-アミロイド1-42の測定 (脳内アミロイドβの蓄積状態把握の補助)	測定結果の判定は、 β-アミロイド1-42濃度と、 β-アミロイド1-40濃度から 算出された β-アミロイド1-42/1-40比 で行う	認知症の診断に関連する十分 な知識及び経験を有する医師 が、検査の原理及び結果の 解釈を十分に理解した上で、 関連学会等の適正使用指針に 従って使用すること
ルミパルス β-アミロイド 1-40	脳脊髄液中のβ-アミロイド1-40の測定 (脳内アミロイドβの蓄積状態把握の補助)		

品名	使用目的
ルミパルス リン酸化タウ 181	脳脊髄液中の181位リン酸化タウ蛋白の測定 (アルツハイマー型認知症及び軽度認知機能障害(MCI)に限る)
ルミパルス 総タウ	ヒト脳脊髄液中のタウ蛋白の測定 (クロイツフェルト・ヤコブ病及びアルツハイマー型認知症の診断補助)

**HU** H.U.GROUP

**HU** H.U.フロンティア

**SIRIL**

**FUJIREBIO**

[問い合わせ先] お客様コールセンター  
☎ 0120-292-832

2020年7月1日、「みらかグループ」は「H.U.グループ」へグループ名を変更いたしました。

※「ルミパルス」は富士レバイオ株式会社の登録商標です。

# 糖尿病検査の一步先へ

HbA1c+血糖値の同時測定をスムーズに

## HbA1c

グリコヘモグロビン分析装置  
ADAMS A1c  
アダムス A1c HA-8190V

医療機器 届出番号: 2581X0001000055

分類 クラスI(一般医療機器)

特定保守管理医療機器

製造販売元 株式会社アークレイファクトリー



搬送システム  
Simple Line  
BRIDGE

## グルコース

グルコース分析装置  
Adams Glucose  
アダムス グルコース GA-1180

医療機器 届出番号: 2581X00001000067

分類 クラスI(一般医療機器)

特定保守管理医療機器

製造販売元 株式会社アークレイファクトリー

検査データ管理システム

## MEQNET MINILAB

メックネット ミニラボ (Adams)

システムの有効活用で、より正確な糖尿病検査を実現し、  
作業効率化をサポートします。

- 前回値チェック機能による測定モードの自動切替
- ニーズに合わせたロジック設定による異常検体のフラグ化
- 患者情報の管理とクロマトグラムとの保存・確認



お問い合わせはこちらから



その先も、みつめる。みまもる。

アークレイは、正確なデータを迅速に

医療現場に届けることはもとより

適正使用に必要な情報提供や、保守サービスにより

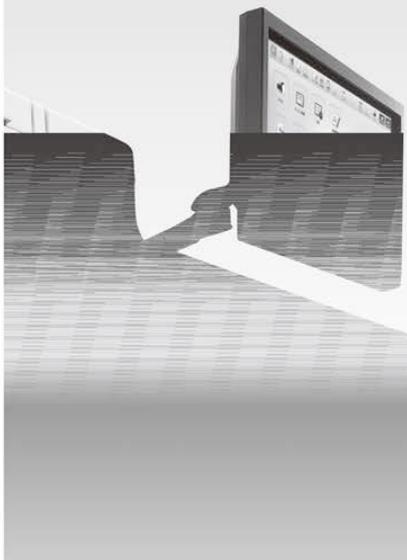
装置をみつめ、みまもり、その価値を維持・向上し続けます。

Our innovative value for the medical testing field

～ARKRAYは、新しい価値を提案します～



アークレイ株式会社



検査環境にフレキシブルに対応—  
HISCLシリーズ。

全自動免疫測定装置  
HISCL™-5000

医療機器製造販売届出番号：28B1X10014000011



全自動免疫測定装置  
HISCL™-800

医療機器製造販売届出番号：28B1X10014000012

医療環境の検査部門に求められる効率化と  
高付加価値化に必要なポテンシャルを備えて誕生しました。



製造販売元  
シスメックス株式会社



注：活動域サイトの適用範囲は様々により異なります。  
詳細はwww.sysmex.comのID 0910289504を参照。  
Note: Scope of sites and activities vary depending on the standard.  
For details, refer to the ID 0910289504 at www.sysmex.com.

(お問い合わせ先)  
支店 仙台 022-722-1710 北関東 048-600-3888 東京 03-5434-8550 名古屋 052-957-3821 大阪 06-6341-6601 広島 082-248-9070 福岡 092-687-5380  
営業所 札幌 011-700-1090 盛岡 019-654-3331 長野 0263-31-8180 新潟 025-243-6266 千葉 043-297-2701 横浜 045-640-5710 静岡 054-287-1707  
金沢 076-221-9363 京都 075-255-1871 神戸 078-251-5331 高松 087-823-5801 岡山 086-224-2605 鹿児島 099-222-2788

www.sysmex.co.jp

2503

# 検査室を“リ”マネジメントする

## 臨床検査情報システム CLINILAN™ Series



### 検体検査システム CLINILAN™ GL-3 Re

- 1 検査状況をリアルタイム管理**  
よく使うオンラインモニターは、見やすさを追求し、エラーや異常にすぐ気づき対応可能
- 2 頻度の高い作業をより効率化**  
複雑になりがちな操作ステップを最小限にすることで業務を大幅に効率化
- 3 ワンステップで簡単に可視化**  
項目ごとに現在の精度管理図に新ロットのQCデータをプロットし、同時表示
- 4 記録・集計作業を効率化**  
測定作業日誌や結果情報など、データの記録や集計作業を効率化する機能を標準装備

### 検体検査自動化システム



## 進化しつづける CLINILOG

検査室の業務改善の答えがここに――



なくてはならない検査室

検査室の業務改善に必要なことは何か？

どう実践するか？

**CLINILOG V4**が答えを知っています

#### ワンストップオペレーション

動線を減らし、検査業務の集中管理を可能にします。  
人による作業を減らすことで検査所要時間 (TAT) を短縮し、品質を高めます。

#### 高速

いかに検体を高速に処理し、装置の処理能力を落とすことなく結果を出すか。  
診療部門への結果報告を早めるために、高速処理を追求しました。

#### 省スペース

高速・パワフルなシステムでありながら、少ないスペースに設置。  
運用にあわせて柔軟なレイアウトが可能です。

**A&T** 株式会社 エイアンドティー

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町2-6 横浜プラザビル  
Tel.045(440)5810

<https://www.aandt.co.jp/>

さらに詳しい情報はこちらから >



1回の臨床検査で救われる「いのち」がある。



臨床検査事業

臨床検査 / 遺伝子検査 / 予防医学 / 治験検査



医療情報システム事業

電子カルテシステム販売・保守



関連事業

食品衛生検査 / 環境検査 / 歯科検査

臨床検査は健康な未来への道しるべ



バイオとシステムで医療に貢献します  
**株式会社ビー・エム・エル**  
<https://www.bml.co.jp/>

本社 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3 TEL.03-3350-0111 (代表) FAX.03-3350-1180  
BML総合研究所 〒350-1101 埼玉県川越市約場1361-1 TEL.049-232-3131 (代表) FAX.049-232-3132



診断データの効果的な  
治療への活用方法とは？

治療に効果的な診断技術とは？

私たちは一人ひとりに必要な診断・治療方法の確立をめざして、最先端の分析・自動化技術と治療技術、デジタルの融合により、ヘルスケア領域に新たな価値を提供していきます。

日立製作所ヘルスケア事業本部と日立ハイテクは2024年4月1日に統合し、新たな一歩を踏み出しました。

日立自動分析装置  
**LABOSPECT 008 α**



本写真は2モジュール構成です。  
製造販売届出番号:1381X10436000041

日立自動分析装置  
**LABOSPECT 006**



製造販売届出番号:1381X10436000038

日立自動分析装置 **NEW!**  
**LABOSPECT 006 α**



製造販売届出番号:1381X10436000043

日立自動分析装置  
**3500**



製造販売届出番号:1381X10436000042

日立検体検査自動化システム  
**LABOSPECT TS**



検体前処理モジュールシステム  
**LabFLEX3500**



検体前処理分注装置  
**LabFLEX2600G**



日立自動分析装置  
**3100**



製造販売届出番号:1381X10436000040

**Innovating Healthcare,  
Embracing the Future**

製品情報



コンセプトムービー



 **株式会社 日立ハイテク**

ヘルスケア事業統括本部 〒105-6409 東京都港区虎ノ門一丁目17番1号 虎ノ門ヒルズビジネスタワー  
お客様サポートセンター 03-3504-7211  
北海道(札幌) 東北(仙台) 中部(名古屋) 関西(大阪) 九州(福岡)

# SEKISUI

## 変わらない安心、確かな前進

こだわりはそのままに、新しい機能を+α

血液凝固自動分析装置  
Automated coagulation analyzer  
**CP3000α**

販売名	血液凝固自動分析装置 CP3000α
一般名称	血液凝固分析装置 一般医療機器・特定保守管理医療機
製造販売届出番号	13B2X00163307001



### 《受け継がれた“省”設計に+α

スペース・時間・エネルギーへのこだわりはそのままに。  
さらに省スペースや作業効率を追求しボディを刷新。

### 《受け継がれた“高機能”設計に+α

処理能力や便利な機能はそのままに。不慣れな方でも安心の機能をプラス。

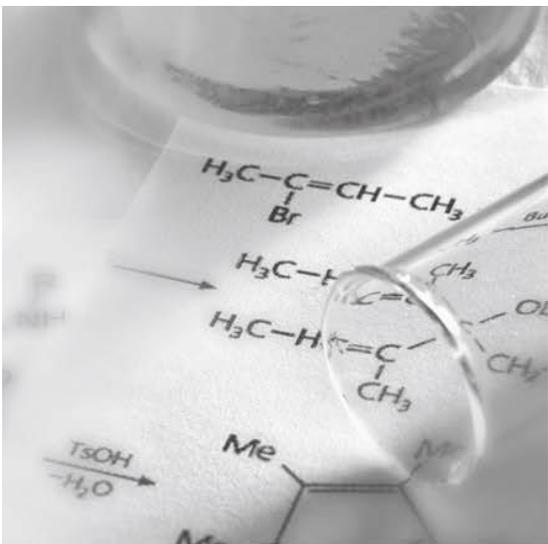
製造販売元

積水メディカル株式会社

本 社：〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目1番3号  
ホームページアドレス：<https://www.sekisuimedical.jp/>

【お問い合わせ先】  
コールセンター：0120-367-182

[2025-0033]



# 正晃

SEIKO CO.,LTD.



医療・科学の専門商社として  
社是 誠正精(誠意・正義・精力)のもと  
豊かな社会の発展に貢献します。

## 正晃株式会社

〒813-0062 福岡市東区松島3丁目34番33号  
TEL:092-621-8199 FAX:092-611-4415 [www.seikonet.co.jp](http://www.seikonet.co.jp)

## 正晃グループ

正晃ホールディングス(株) 関東エリア:(株)バイオテック・ラボ 関西エリア:竹内化学(株)  
北海道エリア:(株)フロンティア・サイエンス 医療ソフトウェア開発:正晃テック(株)  
中国・東南アジア:上海正晃商貿有限公司